YAMAHA

小型除雪機

取扱説明書

YU240

ご使用前に、かならず取扱説明書・本体ラベルをお読みになり、内容を理解してからお使いください。

7XK-F8199-J0

332158

はじめに

ヤマハ除雪機をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本書は、商品の安全性に関する情報および商品の正しい取り扱い方法と簡単な点検・整備について記載してあります。
万一取り扱いを誤ると重大な事故やケガ、故障の原因となります。
あなた自身の安全と環境や住民の方との調和のために、また商品の性能を十分に発揮させるために、商品の取り扱いを十分ご存じの方も、この商品独自の装備、取り扱いがありますので､ご使用前に必ず本書を最後までお読みください。なおご使用時には本書を携帯し、安全に商品をご使用くださいますようお願い申しあげます。

本書では、正しい取り扱いおよび点検・整備に関する重要事項を下記シンボルマークで表示しています。

⚠	安全に係る注意情報を意味しています。

⚠危 険	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される場合を示してあります。
⚠警 告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注 意	取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要 点	正しい操作の方法や点検整備上のポイントを示してあります。

＊仕様変更などにより、本書のイラストや内容が一部本機と異なる場合がありますのでご了承ください。
＊本書は大切に保管し､本機を貸与または譲渡される場合は必ず本書を添付してください。
＊ヤマハ商品には保証書をおつけしています。
保証書もよくお読みいただき裏面の販売店・捺印をご確認のうえ、大切に保管してください。

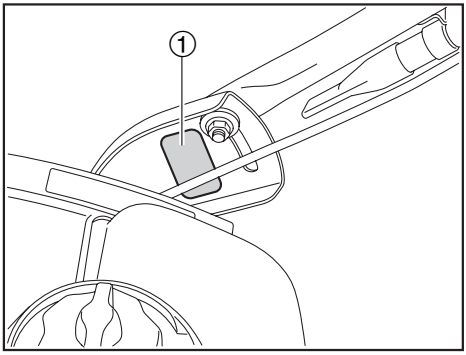
ご不明な点や不具合なところがありましたら、お早目にお買いあげのヤマハ販売店にご相談またはお申しつけください。
ヤマハ販売店では、お客様の良きアドバイザーとしてご来店をお待ち申しあげております。

目次

本体識別ラベル……1
⚠安全にお使いいただくために……3
重要ラベル……7
各部の名称……9
各部の取り扱い…… 11
エンジンスイッチ …… 11
リコイルスタータ …… 11
チョークレバー …… 12
シュートハンドル …… 12
ホイールロック解除レバー …… 13
スロットル／
オーガクラッチレバー …… 13
燃料タンクキャップ …… 14
燃料コック …… 14
スキッド …… 15
スクレーパ …… 15
シャーボルトガード／
シャーボルト …… 16
スノーバー（雪かき棒）…… 16
ハンドル …… 17
運転する前に点検しましょう…… 19
使用前点検 …… 19
燃料の点検 …… 20
エンジンオイルの点検 …… 21
オーガの点検 …… 23
ハンドルのゆるみ、ガタの点検 …… 23
エンジンのかかり具合および
異音の点検 …… 23
排気の状態の点検 …… 23
スロットル／オーガクラッチレバー、
ホイールロック解除レバーの
操作具合の点検 …… 23
シュータの作動具合 …… 23
前日の作業で異常が認められた
箇所の点検 …… 23
正しい運転方法…… 25
エンジンの始動 …… 25
エンジンの停止 …… 27
移動をするとき …… 28
除雪作業をするとき …… 28
除雪作業を停止するとき …… 30
やさしい点検と整備…… 31
使用前点検 …… 31
定期点検 …… 31
点検項目 …… 33
エンジンオイルの交換 …… 35
ウォームケースオイルの交換 …… 36
スパークプラグの点検・清掃 …… 37
フューエルストレーナの清掃 …… 38
マフラーワイヤネットの清掃 …… 39
スキッドの調整 …… 40
シャーボルトの交換 …… 42
スクレーパの調整 …… 43
各部の給油 …… 45
保管・格納…… 47
保管 …… 48
格納 …… 50
仕様諸元…… 51
お客様ご相談窓口のご案内…… 53
索引（さくいん）…… 55

本体識別ラベル

商品名、製造番号は問い合わせや部品を注文する際に使用します。
下図の本体識別ラベル①をご参照のうえ、商品名②、製造番号③を右の欄に記入してください。
万一の盗難時のために商品名、製造番号などは他の資料にも記録してください。

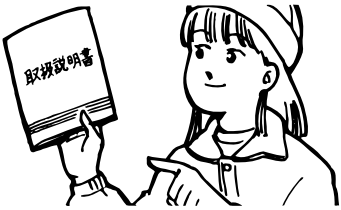


商品名	
製造番号	
購入年月日	年　月　日
購入先	電話

メモ

⚠安全にお使いいただくために

ご使用前に必ず取扱説明書および本機に貼付しているラベル類を最後までお読みいただき、正しい操作方法をよくご理解ください。

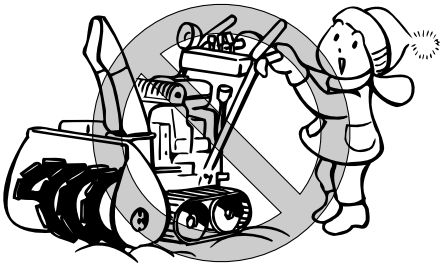


過労時や飲酒、薬物を服用して除雪機を使用しないでください。

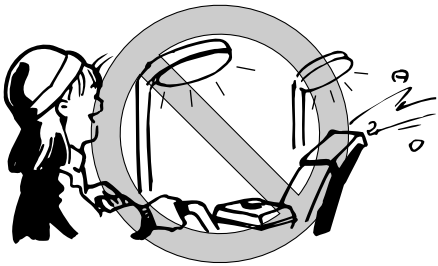
使用前点検、定期点検を必ず行ってください。

除雪機を取り扱うときはすべりにくいはきもの・防寒服・手袋を着用してください。

子供や正しい操作方法を知らない人には操作させないでください。

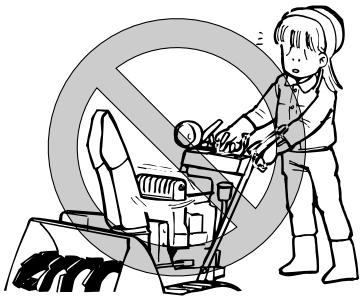


早朝、夜間など視界のよくないときは除雪機を使用しないでください。



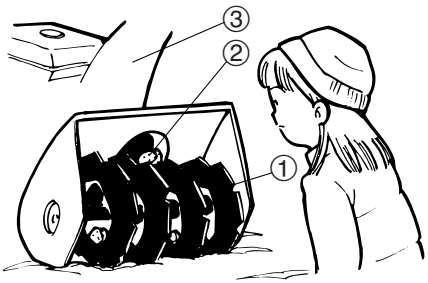
⚠安全にお使いいただくために

ガードやカバーなどを外した状態でエンジンを始動させないでください。



ガソリンは揮発性が高く引火しやすい燃料です。　給油時はエンジンを止め、火気を近づけないでください。

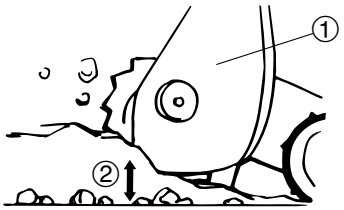
使用前にはオーガ①やインペラ②などの回転部分およびシュータ③に異物がないか確認してください。



除雪前に除雪場所から木片・缶・ホース線材・ナワおよびその他の異物をすべて除去してください。

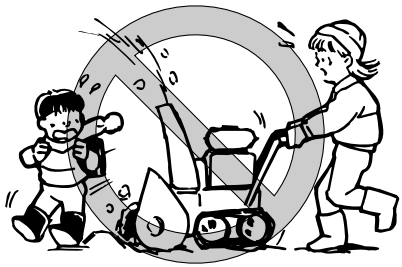
屋内でエンジンを始動させないでください。
排気ガスには一酸化炭素などの有害な成分が含まれます。

砂利のある場所を除雪するときは、雪に混じって砂利が飛ばないようにオーガハウジング①と地面との隙間②を確保して運転してください。

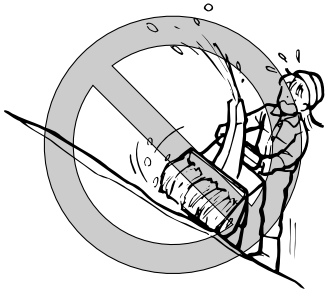


⚠安全にお使いいただくために

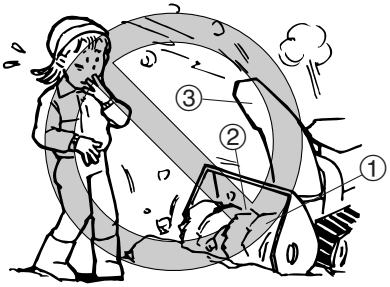
除雪機を操作する人以外は除雪場所に入れないでください。



傾斜面を横切って除雪しないでください。また、坂道での除雪や停車はしないでください。

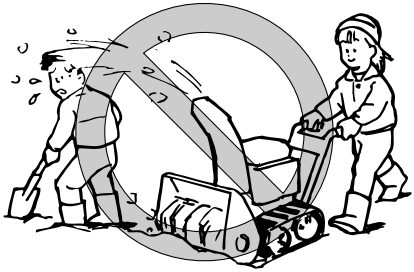


オーガ①やインペラ②などの除雪部やシュータ③をのぞいたり、顔や手足を近づけないでください。



屋根に積もった雪の除雪や急斜面では使用しないでください。

人や建物、自動車などに向けて投雪しないでください。

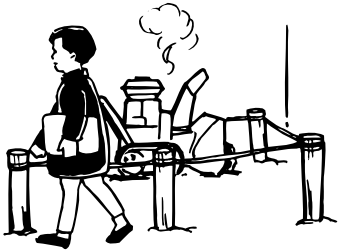


除雪機に異常な振動・音・においがあるときはエンジンを停止し、お買いあげいただいたヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

⚠安全にお使いいただくために

除雪機を駐車するときは平坦な場所に止めてください。

エンジン停止後、しばらくの間はマフラー（排気管）が熱くなっていますので、通行する人が触れない場所に除雪機を止めてください。



除雪機を除雪以外の目的で使用しないでください。

シュータ①に詰まった雪を取り除くときは、エンジンを停止させてからスノーバーを使用してください。

除雪機にカバーなどを掛けるときは、エンジンやマフラーが十分に冷えてから掛けてください。

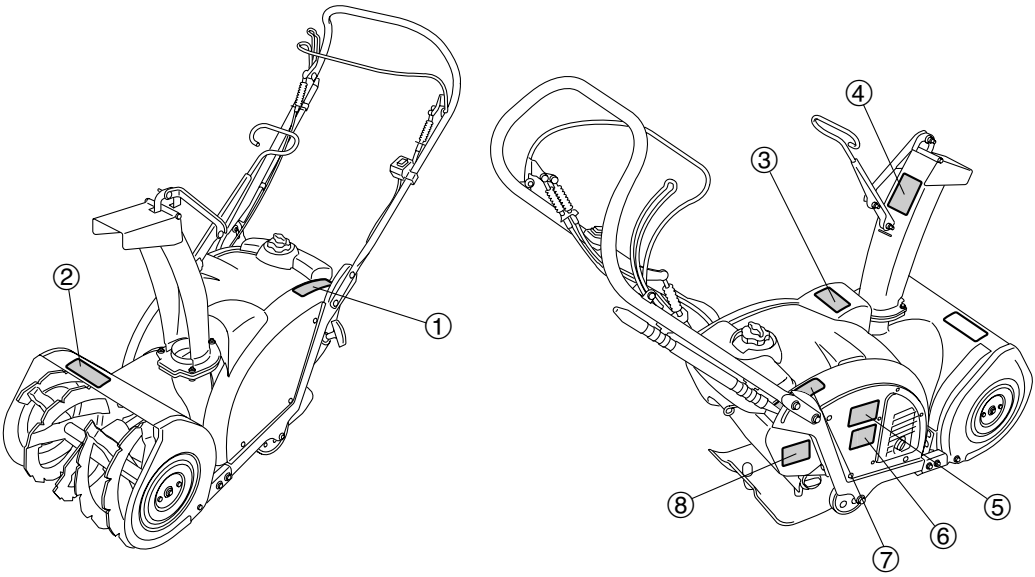
除雪機を立て掛けないでください。

重要ラベル

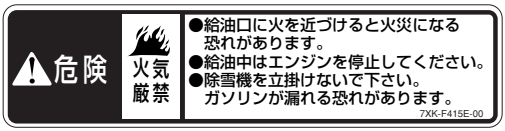
商品の安全な取り扱いのため、本体に貼付されている「ラベル」をお読みいただきラベルの指示に従ってください。

要　点

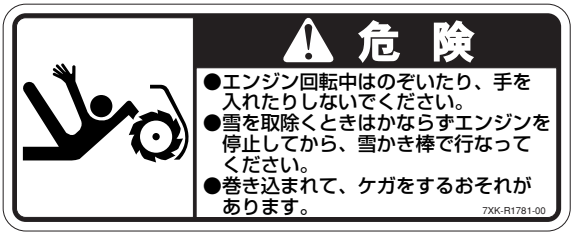
重要ラベルが破れたりはがれたりした場合は、ヤマハ販売店に相談して新しいものと交換してください。



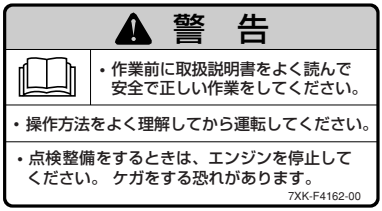
①



②



③



重要ラベル

④

⚠ 警 告

・エンジン回転中は
のぞいたり、手を
入れたりしないで
ください。
・雪を取除くときは
かならずエンジンを
停止してから、
雪かき棒で行なって
ください。
・巻込まれて、ケガをする
おそれがあります。

・作業中は投雪口を人や
建物に向けないでくだ
さい。
・飛散物によりケガや
破損のおそれが
あります。

7XK-R1782-00

⑤

⚠ 警 告

排気ガスに注意

室内および換気の悪い場所での
運転は排気ガスが充満し、人体に
有害です。

マフラー高温注意

さわるとやけどをするおそれが
あります。

7XK-F8176-00

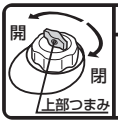
⑥

⚠ 警 告

・カバー類は常に装着してください。
・はずしたままで運転するとケガをする
おそれがあります。

7XK-R151F-00

⑦

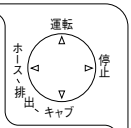


燃料給油キャップ上部つまみ操作方法

運搬 / 保管時：上部つまみを軽く閉めてください。
運転時：閉まった状態から上部つまみを
反時計方向へ1回転まわしてください。

⑧

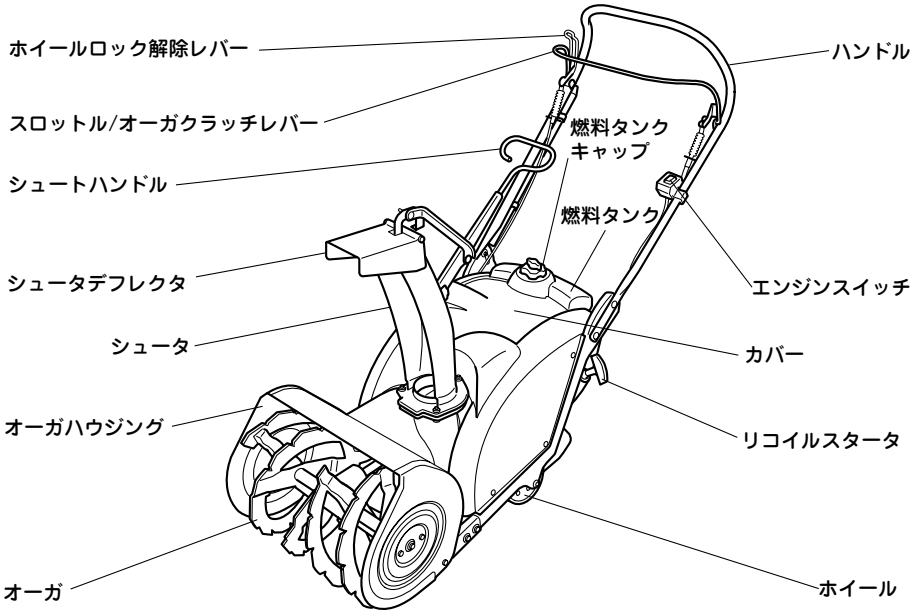
長期保管時には
コック矢印を「キャ
ブ」位置に、その後
「ホース」位置に合
わせて下さい。
残っているガソリンが排出口から
抜けます。

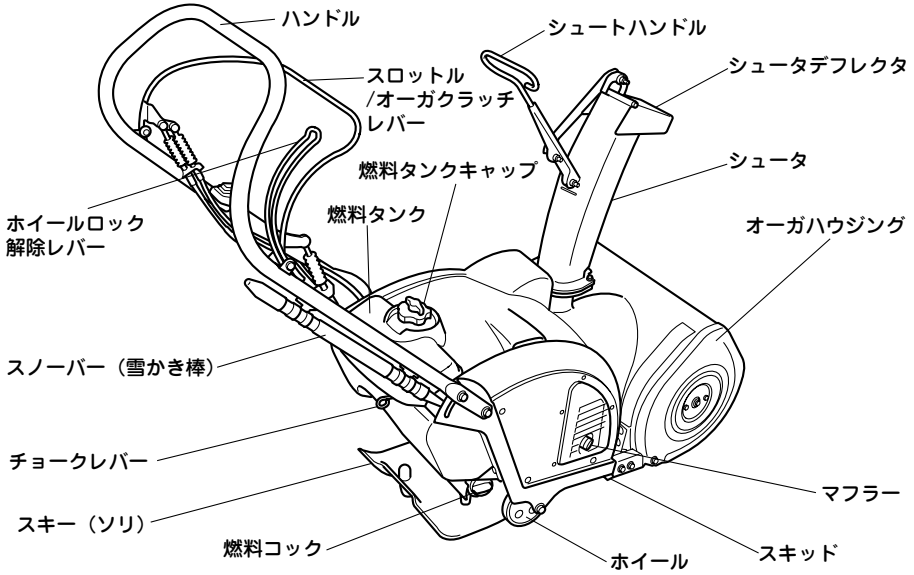


⚠危険 火気厳禁 ガソリン排出口に火を
近づけると火災になる
恐れがあります。

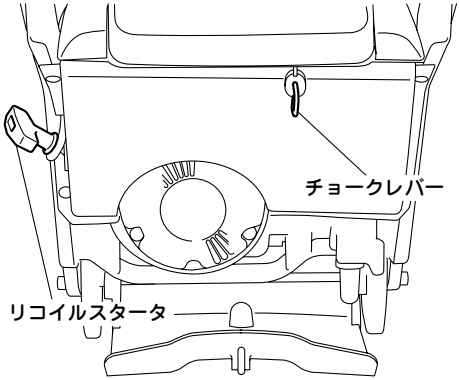
7XK-F4241-00

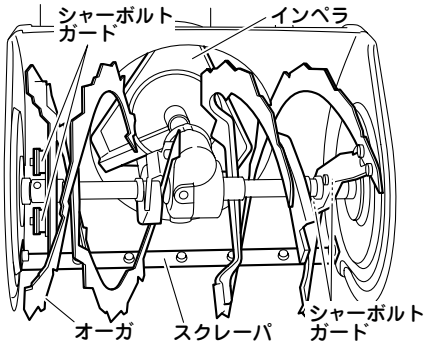
各部の名称

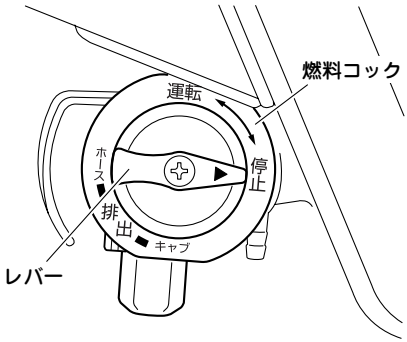

ホイールロック解除レバー
スロットル/オーガクラッチレバー
シュートハンドル
シュータデフレクタ
シュータ
オーガハウジング
オーガ
ハンドル
燃料タンク
キャップ
燃料タンク
エンジンスイッチ
カバー
リコイルスタータ
ホイール

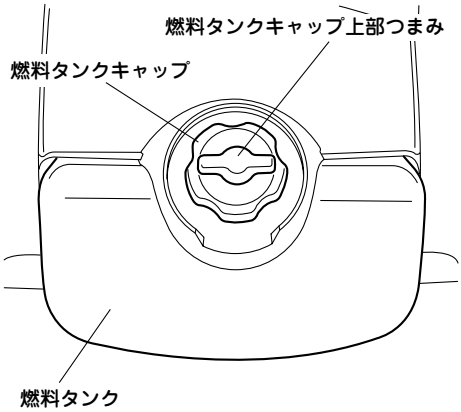

ハンドル
スロットル
/オーガクラッチ
レバー
ホイールロック
解除レバー
スノーバー（雪かき棒）
チョークレバー
スキー（ソリ）
燃料コック
シュートハンドル
燃料タンクキャップ
燃料タンク
シュータデフレクタ
シュータ
オーガハウジング
マフラー
スキッド
ホイール

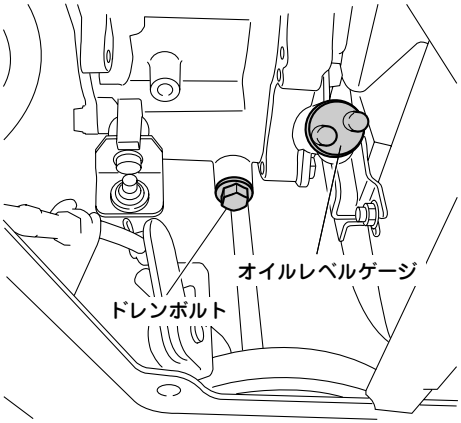
各部の名称

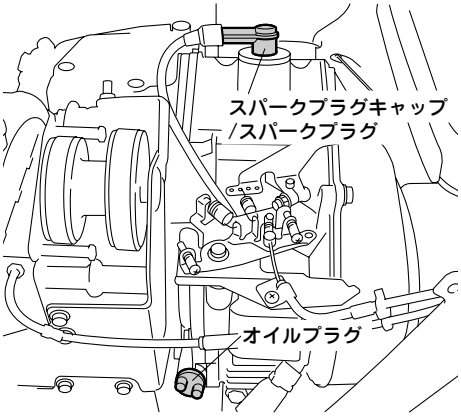

チョークレバー
リコイルスタータ


シャーボルト
ガード
インペラ
オーガ
スクレーパ
シャーボルト
ガード


燃料コック
運転
停止
ホース
排出
キャブ
レバー

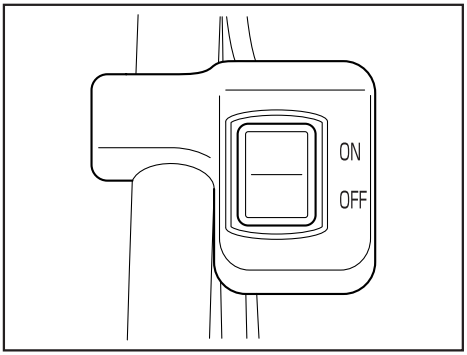

燃料タンクキャップ上部つまみ
燃料タンクキャップ
燃料タンク


オイルレベルゲージ
ドレンボルト


スパークプラグキャップ
/スパークプラグ
オイルプラグ

各部の取り扱い

エンジンスイッチ



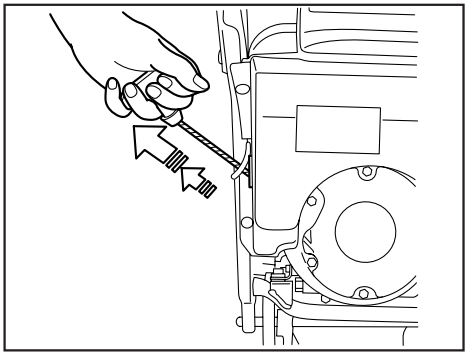
エンジンスイッチは運転・停止系統を制御します。

OFF：
エンジンを停止する位置です。
ON：
エンジン始動時とエンジン運転中の位置です。

要　点

使用しないときは、エンジンスイッチを“OFF”の位置にしてください。

リコイルスタータ



エンジンを始動するときに使用します。

⚠注　意

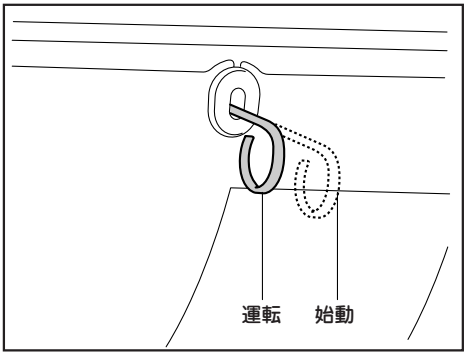
- **まっすぐに引いてください。**
- **静かに元の位置に戻してください。**
- **運転中は手を触れないでください。**

要　点

エンジンスイッチを“ON”の位置にしてからリコイルスタータを引いてください。

各部の取り扱い

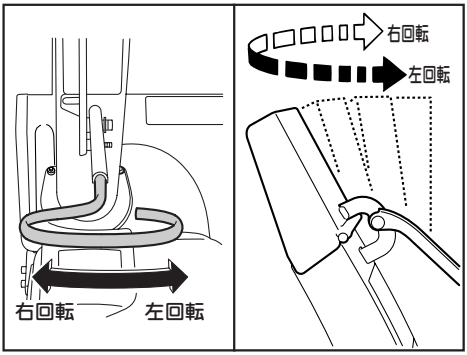
チョークレバー

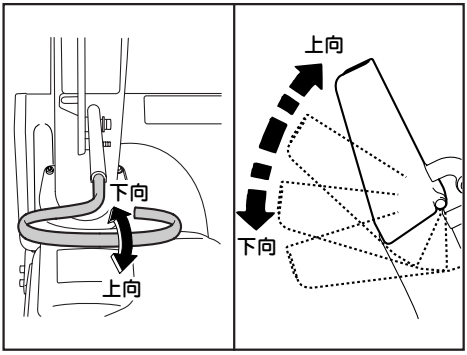


エンジンが冷えているときに使用すると始動が容易になります。

始動：
エンジンを始動するときのレバー位置です。
運転：
エンジンを運転するときのレバー位置です。

シュートハンドル



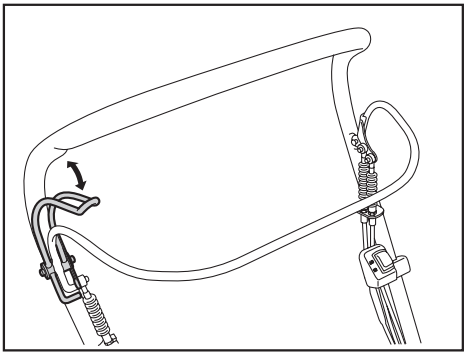


投雪方向と投雪角度を変えるときに操作します。

ハンドルを右に動かす：
シュータは左回転します。
ハンドルを左に動かす：
シュータは右回転します。
ハンドルを下げる：
シュータデフレクタが上向きになり雪を遠くに飛ばします。
ハンドルを上げる：
シュータデフレクタが下向きになり雪を近くに飛ばします。

各部の取り扱い

ホイールロック解除レバー



除雪機を移動させるときに操作します。

レバーを握る：
ホイールのロックが解除され、除雪機を移動できます。
レバーをはなす：
ホイールがロックされ、除雪機を移動できません。

▲警 告

傾斜面に除雪機を停車しないでください。ホイールがロックされていても、傾斜面ではスリップして除雪機が動いてしまうことがあります。

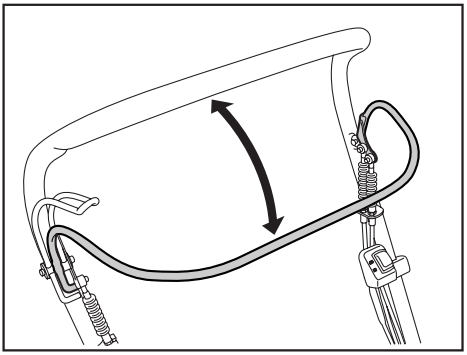
▲注 意

ホイールロックを解除せずに、無理に除雪機を移動しないでください。ホイールロックを解除しないで移動すると、ホイールが摩耗する原因になります。

要 点

右ホイールのみロックします。

スロットル／オーガクラッチレバー



オーガを回転させるときに操作します。

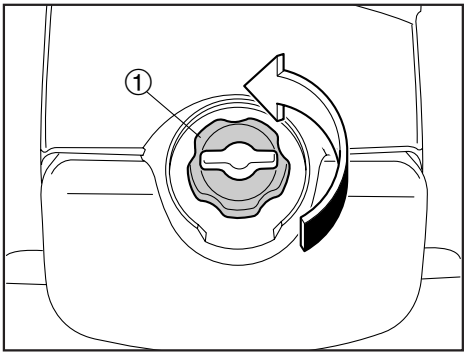
レバーを握る：
オーガが回転します。
レバーをはなす：
オーガの回転が停止します。

要 点

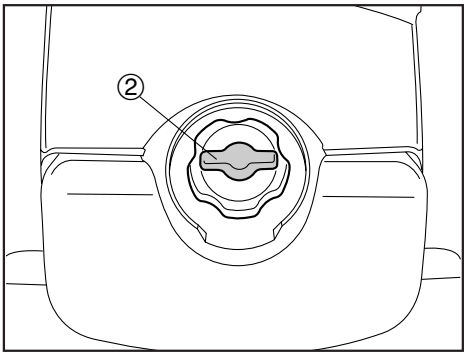
- スロットル／オーガクラッチレバーを握ると初めにエンジン回転が上がり、次にオーガが回転します。
- スロットル／オーガクラッチレバーを握ることにより、ホイールロックも解除されます。

各部の取り扱い

燃料タンクキャップ



燃料タンクキャップ①は反時計方向に回して取り外します。

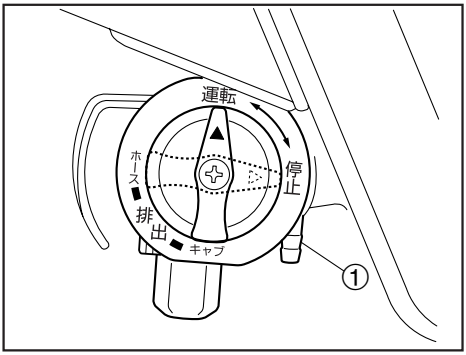


燃料タンクキャップ上部つまみ②は、燃料タンク内部と外気との通気穴の開閉を行います。除雪機を運転するときに使用します。

要　点

除雪機を運転しているときに、燃料タンクキャップ上部つまみを開けていないとエンジンが停止してしまいます。

燃料コック

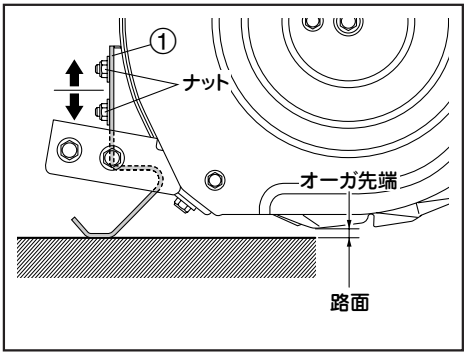


レバーの位置で燃料の流れを制御します。

停止：
除雪機を使用しないときのレバー位置です。
燃料は流れません。
運転：
始動および運転時のレバー位置です。
キャブ：
キャブレタ内の燃料を排出パイプ①から排出するときのレバー位置です。
長期保管時に使用します。
ホース：
燃料コックからキャブレタまでの燃料ホース内の燃料を排出パイプから排出するときのレバー位置です。
長期保管時に使用します。

各部の取り扱い

スキッド



スキッド①は路面とオーガ先端との間の高さを決めます。路面の状態に合わせてすき間を調整してください。
（スキッドの調整方法は40ページ参照）

⚠警 告

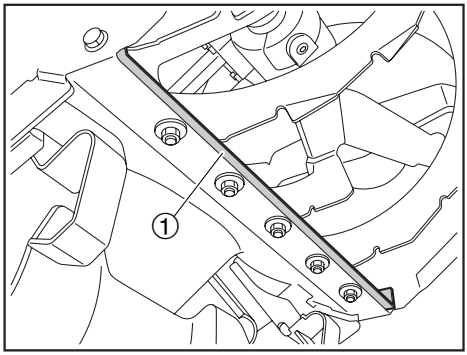
路面とオーガ先端のすき間を小さくし過ぎると、オーガの回転が路面に伝わり、除雪機が前に進むことがあります。

⚠注 意

路面とオーガ先端のすき間を小さくし過ぎると、オーガの摩耗が早くなったり路面を傷付けたりすることがあります。

	路面とオーガ先端のすき間
工場出荷時（標準位置）	4mm
コンクリート、アスファルト路	小さくする
小石路、じゃり道	大きくする

スクレーパ

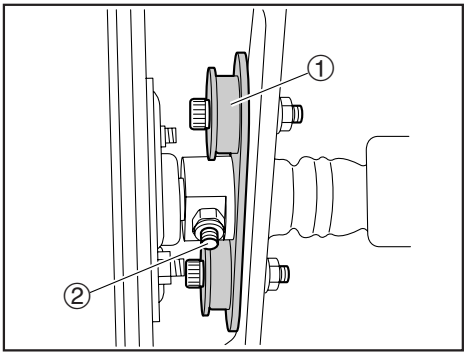


スクレーパは除雪する雪面をならします。路面の状態に合わせて路面とスクレーパ先端①とのすき間を調整してください。
（スクレーパの調整方法は43ページ参照）

	路面とスクレーパ先端のすき間
工場出荷時（標準位置）	4mm以上
コンクリート、アスファルト路	小さくする
小石路、じゃり道	大きくする

各部の取り扱い

シャーボルトガード／シャーボルト



オーガに異物がかみ込んだり縁石などに接触した場合、シャーボルトガード①が衝撃を緩和し、オーガやオーガシャフトを保護します。
さらに大きな衝撃が加わると、シャーボルト②が折れてオーガやオーガシャフトを保護します。

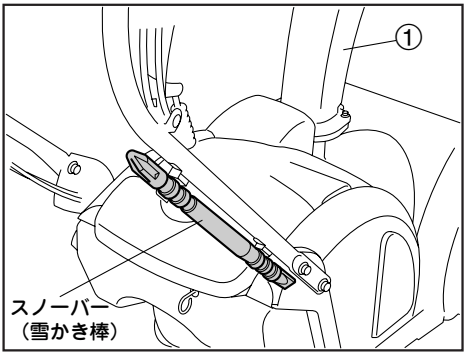
⚠危 険

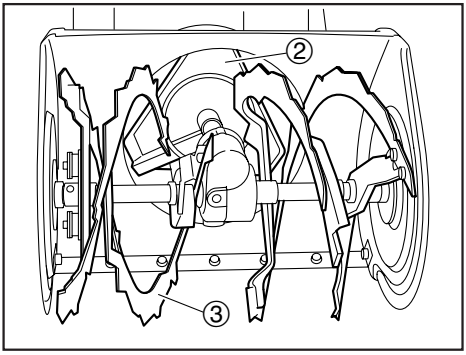
オーガ回転中はのぞいたり、手を入れたりしないでください。

要　点

シャーボルトは純正部品をご使用ください。

スノーバー（雪かき棒）





シュータ①やインペラ②、オーガ③に詰まったり付着した雪を取り除く場合に使用します。

⚠危 険

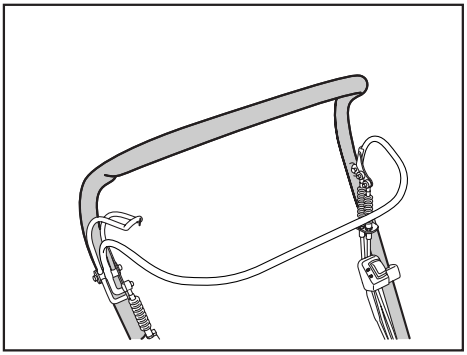
- **インペラ、オーガ回転中は中をのぞいたり、手を入れたりしないでください。**
- **回転部に詰まった雪を除去するときは、エンジンを停止し、各部が完全に停止してから行ってください。**

⚠警 告

手袋をはめてスノーバーを使用してください。

各部の取り扱い

ハンドル



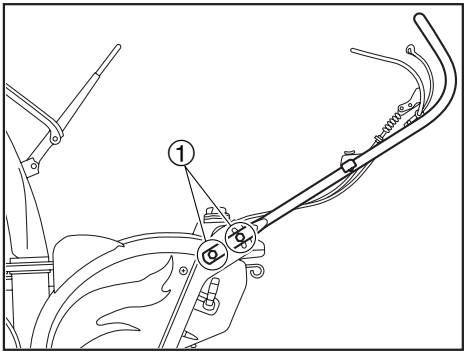
各自の体格や好みに合わせて高さを調整できます。

要　点

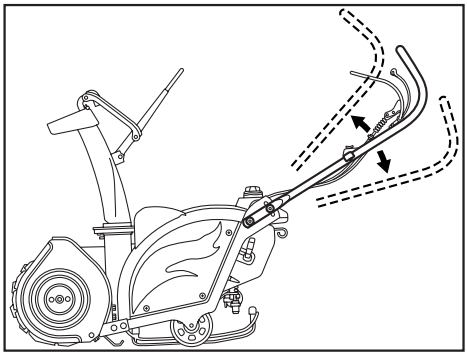
ハンドルの位置を下方向にすると力が入りやすくなります。

調整方法

1. 左右のハンドル取付ボルト①（4本）をゆるめます。



2. ハンドルを上下に動かして高さを調整します。



3. ハンドル取付ボルトを締め付けます。

締付トルク：
25.5Nm（2.55kgf・m）

メモ

運転する前に点検しましょう

⚠警 告

●点検・整備を怠ると事故やトラブルの原因となります。必ず実施してください。
●安全使用のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲で点検を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店に相談してください。
点検・整備を行うときは安全に十分注意し、下記の内容を守ってください。
- **点検・整備は平坦な足場のしっかりした場所で行ってください。**
- **点検・整備を行うときは、エンジンを停止してください。**
- **エンジン停止直後はエンジン本体やマフラーなどが熱くなっています。やけどに注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用の方ご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

使用前点検

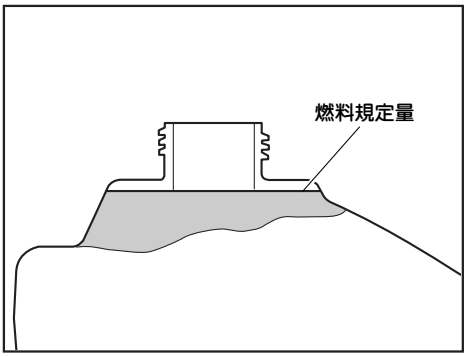
除雪機を安全で快適にご使用いただくため、お客様自身がご使用前に以下の項目について必ず点検を実施してください。

- 作業に十分な燃料の量
- 各オイル量
- オーガの状態
- ハンドルのゆるみ、がた
- エンジンのかかり具合および異音
- 排気の状態
- オーガクラッチの操作具合
- ホイールロックの操作具合
- シュータの作動具合
- 前日の作業で異常が認められた箇所

運転する前に点検しましょう

燃料の点検

燃料タンクキャップを外して燃料の残量を点検します。
燃料が少ないときは、規定量まで給油してください。



使用燃料：
　自動車用無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量：
　2.0L

⚠危　険

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。ガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時はタバコを吸わないでください。また、他の火気を近づけないでください。**
- **燃料タンクキャップを開ける前に車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、やけどするおそれがあります。**
- **給油作業は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**

⚠警　告

- **給油は、屋外の換気のよい場所で行ってください。**
- **ガソリンは規定量以上（燃料タンクの口元まで）給油しないでください。**
- **こぼれたときは、ただちに布きれなどで完全にふきとってください。**
- **給油後は燃料タンクキャップを確実に締めてください。**
- **ガソリンを飲み込んだり、ガソリン蒸気を吸い込んだり、またはガソリンが目に入ったりした場合は、ただちに医師の診断を受けてください。**
- **ガソリンが皮膚や衣類にこぼれた場合はただちに石鹸と水で洗い、衣類は取り替えてください。**

⚠注　意

- **必ず指定燃料を使用してください。指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、エンジン不調の原因になる場合があります。**
- **タンク内にゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

要　点

- 燃料はゆっくりと給油してください。
- 燃料は全部なくなる前に、できるだけ早目に補給してください。

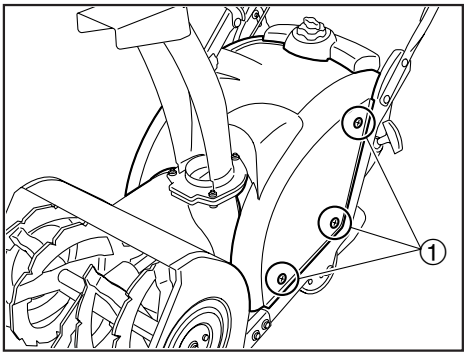
運転する前に点検しましょう

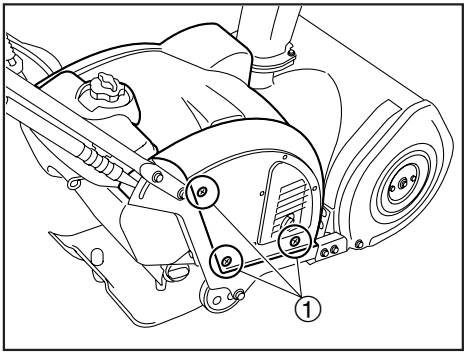
エンジンオイルの点検

オイルレベルゲージを外しエンジンオイル量が規定量あるか点検します。

1.除雪機を平坦な場所で水平な状態にします。

2.スクリュー①（6本）を取り外し、カバーを取り外します。

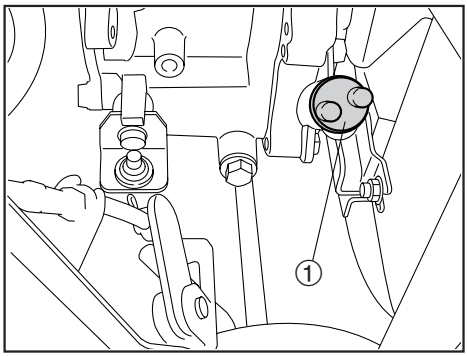




3.オイルレベルゲージ①を外します。

要　点

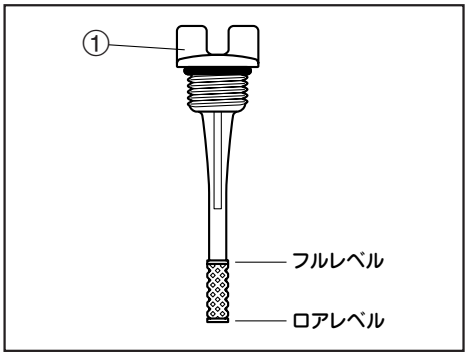
オイルレベルゲージは本機右側にあります。



4.オイルレベルゲージ①でオイル量を点検します。

要　点

オイルレベルゲージはねじ込まないで点検します。

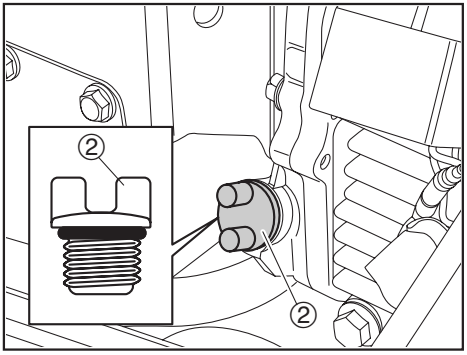


運転する前に点検しましょう

5. エンジンオイル量が規定量より少ない場合は、オイルプラグ②を外して、推奨オイルを注入口の口元（オイル基準面）まで給油します。

要　点

オイルプラグは本機左側にあります。



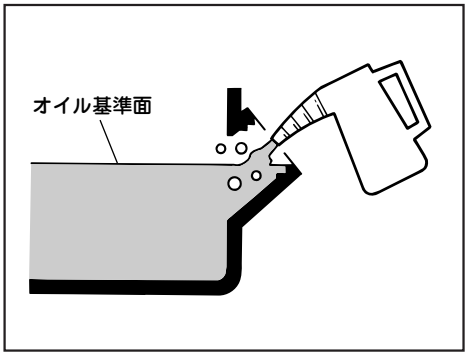
推奨オイル：
ヤマハ純正除雪機専用エンジンオイル
　もしくは
4サイクルガソリンエンジンオイル
SAE 5W-30 SE級以上

⚠注　意

エンジンオイルを本機右側（オイルレベルゲージ側）から給油しないでください。オイル量が規定量を超えてしまいます。

要　点

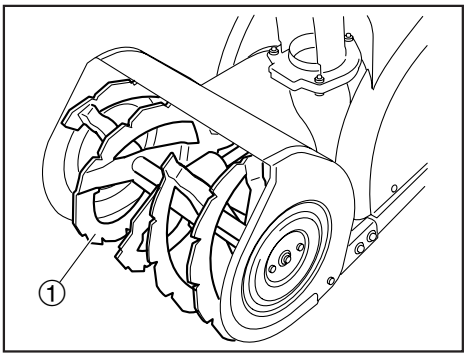
エンジンオイルがこぼれたときは、ただちに布きれなどでふきとってください。



6. カバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

運転する前に点検しましょう

オーガの点検
オーガ①に曲がりや変形がないか、異物がからまっていないかを点検します。

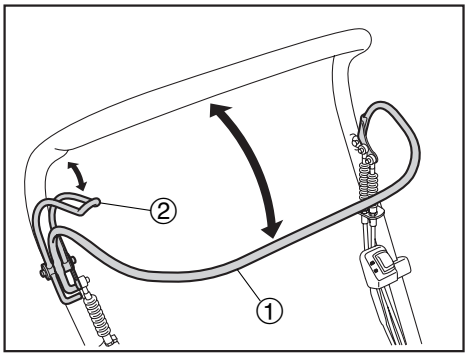


ハンドルのゆるみ、ガタの点検
ハンドルを握り左右に動かし、ハンドルにゆるみやガタがないかを点検します。
不具合が認められるときは、ヤマハ販売店に相談してください。

エンジンのかかり具合および異音の点検
エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。また、エンジンから異音がしないかを点検します。

排気の状態の点検
エンジン始動後、排気に異常がないかを点検します。

スロットル／オーガクラッチレバー、ホイールロック解除レバーの操作具合の点検
エンジン始動後、スロットル／オーガクラッチレバー①、ホイールロック解除レバー②を操作し、各々のレバーを離したときにオーガの回転が停止し、ホイールがロックするか点検します。（13ページ参照）



シュータの作動具合
シュートハンドルを操作し、作動に不具合がないか点検します。（12ページ参照）

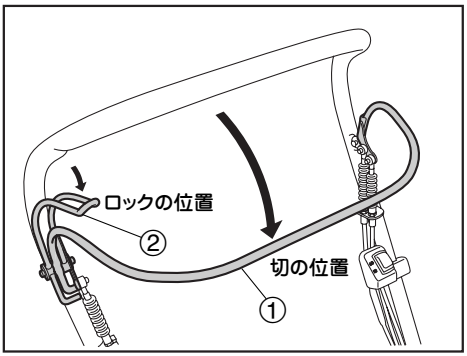
前日の作業で異常が認められた箇所の点検
前日の使用で異常が認められた箇所について、使用に支障がないかを点検します。

メモ

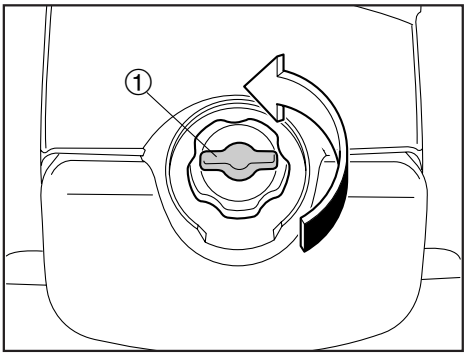
正しい運転方法

エンジンの始動

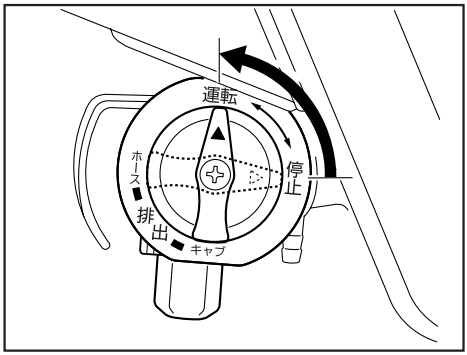
1.スロットル／オーガクラッチレバー①が切の位置、ホイールロック解除レバー②がロックの位置にあることを確認します。



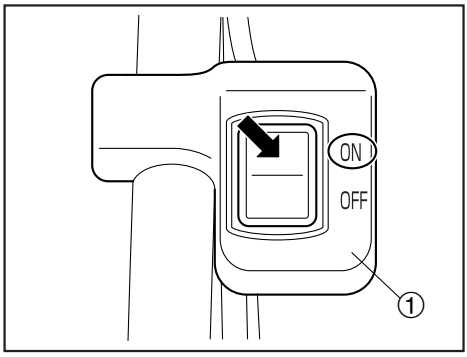
2.燃料タンクキャップ上部つまみ①を閉まった状態から反時計方向へ1回転まわします。



3.燃料コックレバーを“停止”から“運転”の位置にします。



4.エンジンスイッチ①の“ON”側を押して、スイッチをONにします。

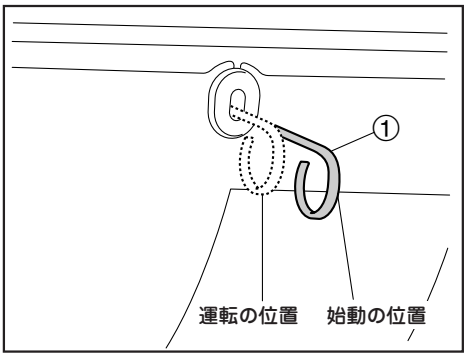


正しい運転方法

5. チョークレバー①を運転の位置から始動の位置にします。

要　点

エンジンが暖まっているときは、チョークレバーを始動の位置にする必要はありません。



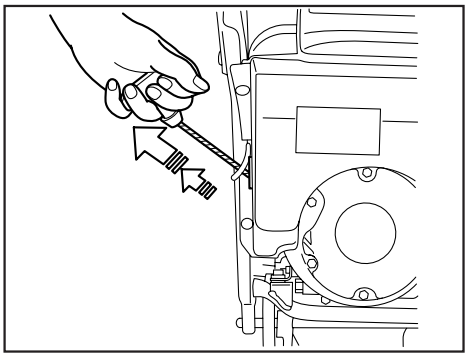
6. リコイルスタータを軽く引き出します。リコイルスタータが重くなった状態から勢いよく引きエンジンを始動します。

⚠注　意

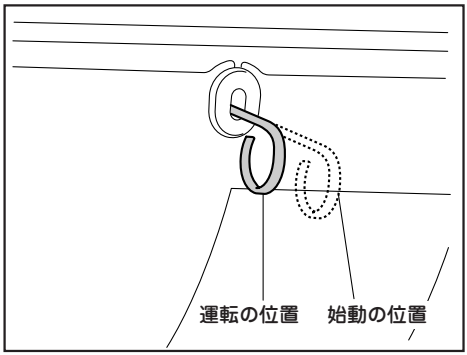
リコイルスタータを戻すときはゆっくりと戻してください。

要　点

リコイルスタータを数回引いてエンジンが始動しないときは、チョークレバーを運転の位置にしてリコイルスタータを引いてください。



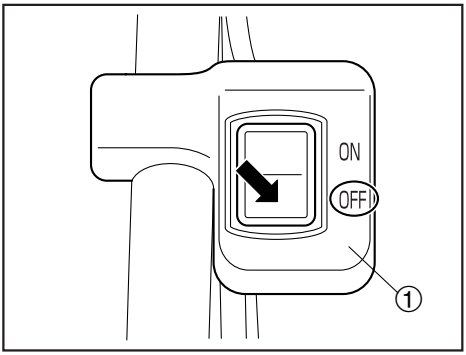
7. エンジンの回転が安定したらチョークレバーを始動の位置から運転の位置にし、しばらく暖機運転をします。



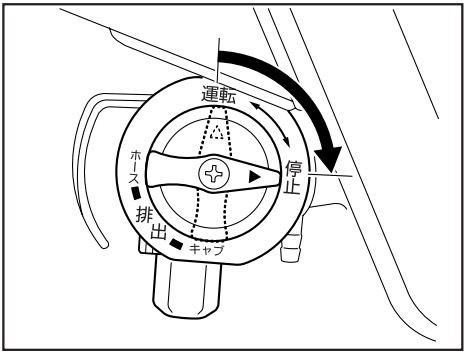
正しい運転方法

エンジンの停止

1.エンジンスイッチ①の“OFF”側を押して、スイッチをOFFにします。



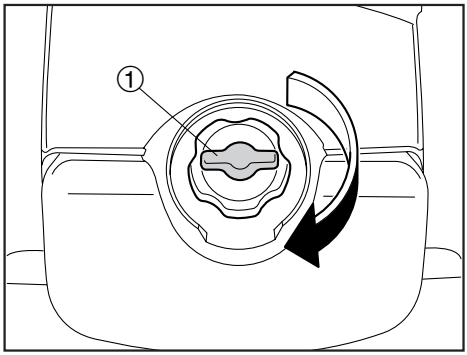
2.燃料コックレバーを“停止”の位置にします。



3.燃料タンクキャップ上部つまみ①を時計方向にまわして閉めます。

要　点

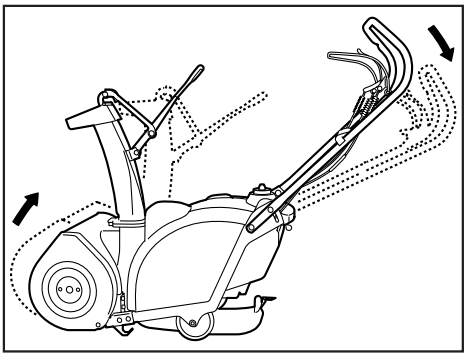
エンジンが十分に冷えてから、燃料タンクキャップ上部つまみを閉めてください。



正しい運転方法

移動をするとき

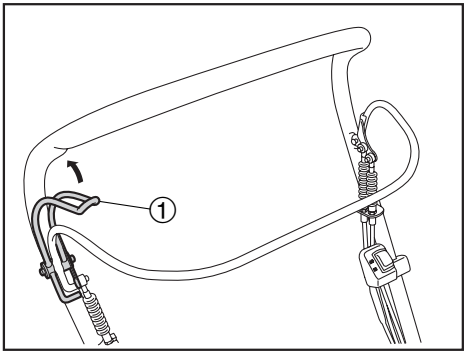
1.ハンドルを押し下げ、ホイールを支点としてオーガ部を浮かせます。



2.ホイールロック解除レバー ①を握って、除雪機を移動します。

⚠注 意

除雪機を移動するときは必ずホイールロック解除レバーを握ってください。ホイールの摩耗の原因になります。

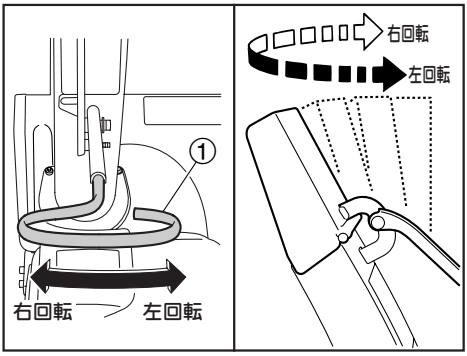


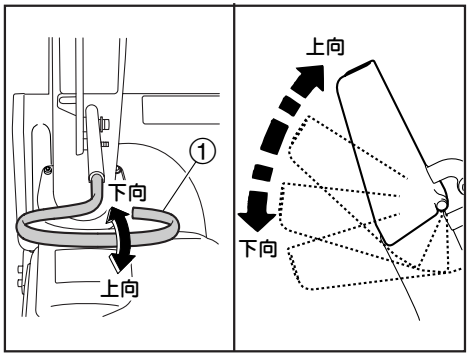
除雪作業をするとき

⚠警 告

- **投雪口を人や建物、自動車に向けないでください。**
- **インペラ、オーガに異物が巻きついたときはすぐにエンジンを停止し、異物を取り除いてください。除雪機に損傷がないか点検し、損傷が認められる場合は完全に修理した後、使用してください。**

1.シュートハンドル①を操作して投雪方向と投雪角度を決めます。





正しい運転方法

2. スロットル／オーガクラッチレバー①を握ります。

⚠警 告

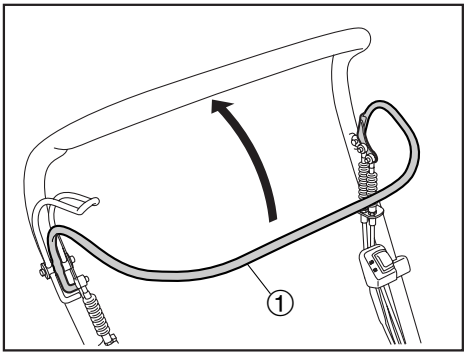
投雪方向が安全か確認してからレバーを握ってください。

⚠注 意

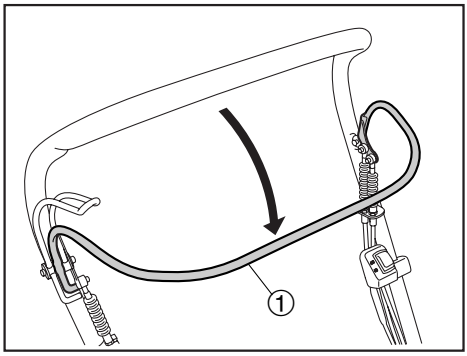
スロットル／オーガクラッチレバーを操作するときはレバーを完全に握ってください。オーガベルトの摩耗の原因になります。

要 点

スロットル／オーガクラッチレバーはゆっくりと握ってください。



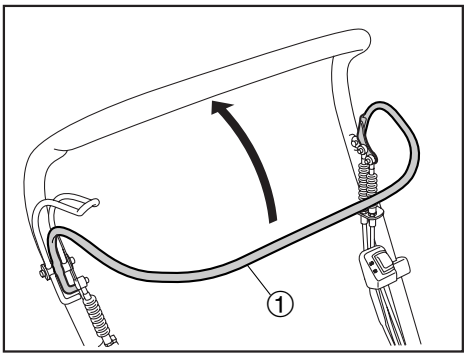
3. スロットル／オーガクラッチレバー①から手をはなすとオーガの回転が停止します。

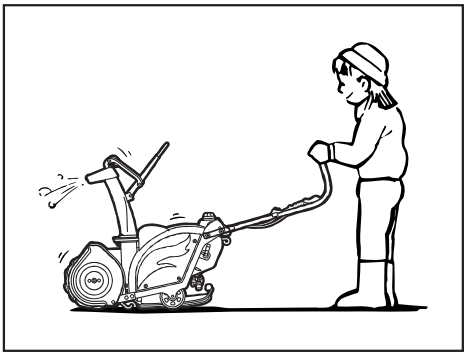


正しい運転方法

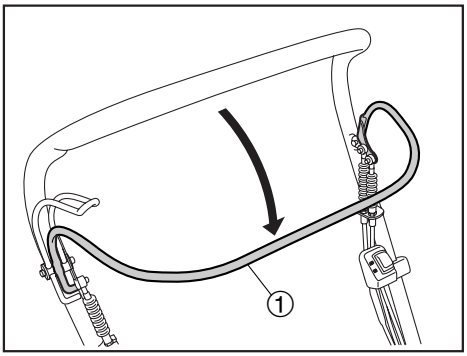
除雪作業を停止するとき

1.オーガ、インペラ凍結防止のためスロットル／オーガクラッチレバー ①を握りオーガ、インペラを空転させ内部の雪を飛ばします。





2.スロットル／オーガクラッチレバー ①から手をはなします。



3.除雪機を止めるときはオーガを下げて地面に接地させます。

⚠警 告

除雪機は平坦な場所に止めてください。

やさしい点検と整備

点検の
おすすめ

いつまでも安全・快適に
ご使用いただくために

⚠警 告

●点検・整備を怠ると事故やトラブルの原因となります。必ず実施してください。
●安全使用のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。

点検・整備を行うときは安全に十分注意し、下記の内容を守ってください。
- **点検・整備は平坦な足場のしっかりした場所で行ってください。**
- **点検・整備を行うときは、エンジンを停止してください。**
- **エンジン停止直後はエンジン本体やマフラーなどが熱くなっています。やけどに注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用の方ご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

⚠注 意

点検を怠ると不具合の原因となる場合があります。また保証を受けられない場合がありますので注意してください。

使用前点検
ご使用前にお客様ご自身によって行っていただく点検です。（19ページ参照）
点検箇所に異常が認められたときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

定期点検
お客様のお申しつけにより、お買いあげのヤマハ販売店が実施します。
お客様の責任で必ず点検を受けてください。

初回点検……お買いあげ日から1ヶ月目
格納点検……6ヶ月ごと
季節前点検……12ヶ月ごと

メモ

やさしい点検と整備

点検項目

使用前、定期点検の際には以下の項目を点検します。
季節後の格納点検および季節前点検はヤマハ販売店にご用命ください。

メンテナンスチャート

点検・整備項目			点検整備時期				備考
			使用前点検	初回（1ヶ月）	格納（6ヶ月）	季節前（12ヶ月）	
かじ取り装置	ハンドル	ゆるみ、がた	○	○	○	○	
除雪装置	操作装置	スロットル／オーガクラッチレバーの操作具合	○	○	○	○	
		ホイールロック解除レバーの操作具合	○	○	○	○	
	スキッド	取付状態、平行度		○	○	○	
	オーガおよびインペラ	取付状態、曲り	○		○	○	
	シュータ	作動状態	○		○	○	
		シュートハンドルの操作具合			○	○	
動力伝達装置	オーガクラッチ	作動状態		○	○	○	
	ウォームホイール	オイルの交換				○	
電気装置	点火装置	スパークプラグの点検			○	○	
	エンジンスイッチ	作動具合		○	○	○	

やさしい点検と整備

点検・整備項目			点検整備時期				備考
			使用前点検	初回（1ヶ月）	格納（6ヶ月）	季節前（12ヶ月）	
原動機	本体	エンジンのかかり具合および異音	○	○	○	○	
		定格回転数の測定		○	○	○	
		排気の状態	○	○	○	○	
		圧縮圧力				○	
		バルブクリアランス				○	
		シリンダヘッド部のカーボン除去				○	
	潤滑装置	オイル漏れ				○	
		エンジンオイルの量	○				
		エンジンオイルの交換				○	
	燃料装置	燃料漏れ			○	○	
		キャブレタスロットルバルブ チョークバルブの状態			○	○	
		キャブレタ調整の状態			○	○	
		燃料の量	○				
		フューエルホースの交換					4年毎
その他	マフラー	取付部のゆるみ			○	○	
		マフラーの機能				○	
		マフラーワイヤネットの清掃、損傷の確認			○	○	
	ボディ	亀裂損傷および各部の締付け				○	
		各部の給油脂		○	○	○	
	前日の作業で異常が認められた箇所		○				

エンジンオイルの交換

⚠警 告

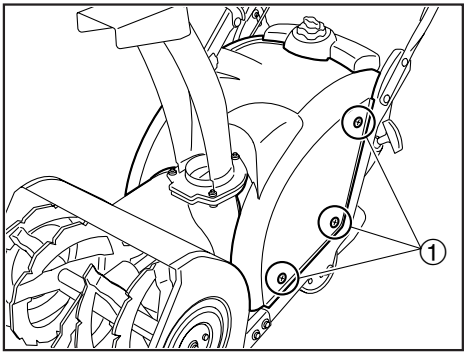
- **除雪機を平坦な場所で水平な状態にしてください。**
- **エンジン停止直後は、オイルが熱くなっていますので、すぐに排出しないでください。十分に冷えてからオイル交換を行ってください。**

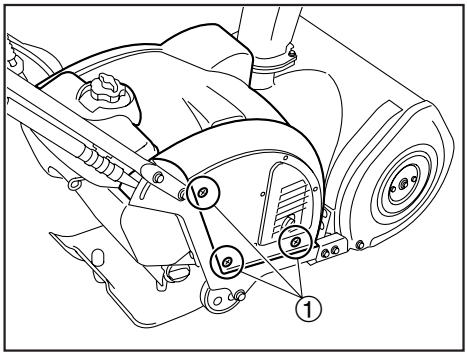
要　点

油脂類の廃液は法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられていますのでヤマハ販売店へ相談してください。

1. エンジンを停止します。

2. スクリュー①（6本）を取り外し、カバーを取り外します。



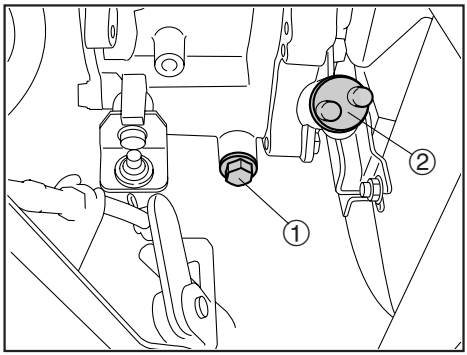


3. 排出するエンジンオイルを受ける容器をドレンボルト①の下に用意します。

4. オイルレベルゲージ②、ドレンボルト、ガスケットを外してエンジンオイルを抜きます。

要　点

オイルレベルゲージは本機右側にあります。



5. ドレンボルト、ガスケットを取り付け、ドレンボルトを締め付けます。

要　点

ガスケットは新しいものを使用してください。

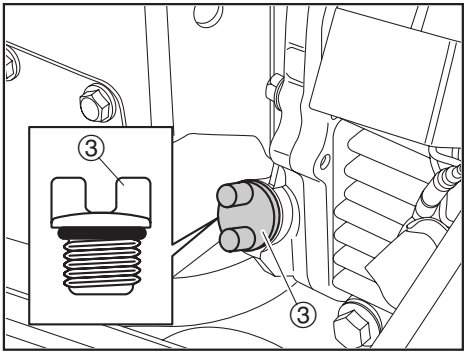
締付トルク：
17N m（1.7kgf · m）

6. オイルレベルゲージを締め付けます。

7. オイルプラグ③を外して、新しいエンジンオイルを注入口の口元（オイル基準面）まで給油します。

要　点

オイルプラグは本機左側にあります。



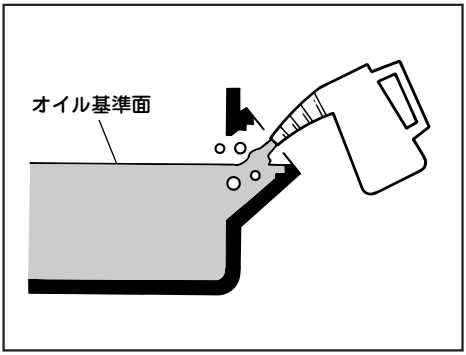
オイル量：
0.41 L（410cm³）
推奨オイル：
ヤマハ純正除雪機専用エンジンオイル
もしくは
4サイクルガソリンエンジンオイル
SAE 5W-30 SE級以上

⚠注　意

エンジンオイルを本機右側（オイルレベルゲージ側）から給油しないでください。オイル量が規定量を超えてしまいます。

要　点

エンジンオイルがこぼれたときは、ただちに布きれなどでふきとってください。



8. オイルプラグを締め付けます。

9. カバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

ウォームケースオイルの交換

ウォームケースオイルの交換が必要なときは、ヤマハ販売店に交換を依頼してください。

スパークプラグの点検・清掃

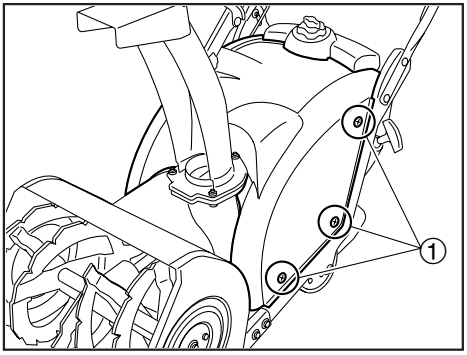
スパークプラグは比較的簡単に点検ができる重要部品です。使用によりスパークプラグは徐々に劣化しますので、定期的に外して点検を行う必要があります。

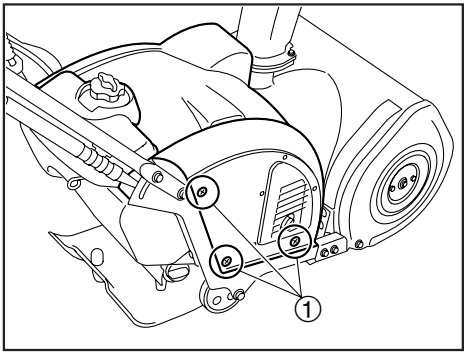
▲警 告

- **エンジン停止直後はエンジン本体やマフラーなどが熱くなっています。やけどに注意してください。**
- **スパークプラグの脱着の際は、ガイシを損傷させないように注意してください。ガイシが損傷すると、漏電により火災などを誘発するおそれがあります。**

1. エンジンを停止します。

2. スクリュー①（6本）を取り外し、カバーを取り外します。





3. スパークプラグキャップを取り外します。

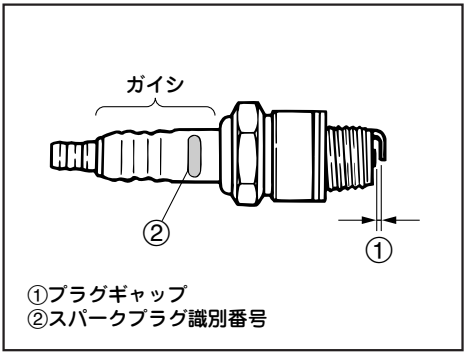
4. プラグレンチを使ってスパークプラグを取り外します。

5. スパークプラグの焼け具合を点検します。
   通常はキツネ色に焼けますが、黒くすすぶっていたり白く焼けすぎているときは、ヤマハ販売店に相談してください。

6. プラグクリーナもしくはワイヤブラシを使用し電極付近の汚れ（カーボン）を落とします。

7. プラグギャップを点検します。

スパークプラグ：NGK BPR6HS プラグギャップ：0.6～0.7mm



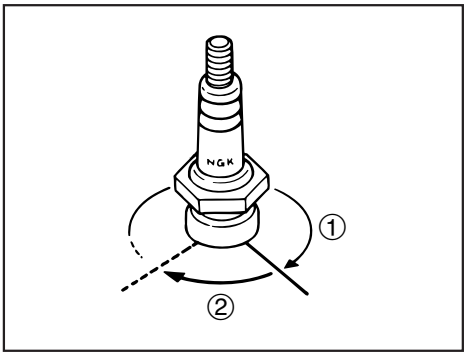
①プラグギャップ
②スパークプラグ識別番号

8.スパークプラグを取り付けます。

締付トルク：
20Nm（2.0kgf・m）

要　点

スパークプラグを取り付ける際にトルクレンチが準備できないときは、スパークプラグを指でいっぱいまで締め込んだ後①、プラグレンチを使ってさらに1／4～1／2回転②締め込んでください。できるだけ早い時期にトルクレンチを使って、正規の値で締めてください。



9.スパークプラグキャップを取り付けます。

10. カバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

フューエルストレーナの清掃

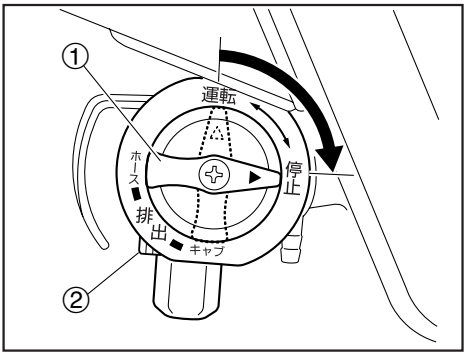
⚠危　険

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。ガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **作業中はタバコを吸わないでください。また、他の火気を近づけないでください。**
- **作業前は本機の金属部分に触れるなどして身体に帯電した静電気を除去してください。**

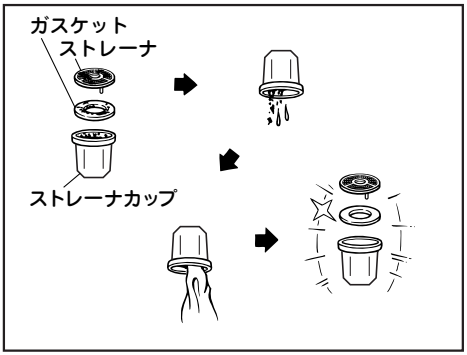
1.エンジンを停止します。

2.燃料コックレバー①を“停止”位置にします。



3.ナットリング②を取り外し、ストレーナカップ、ガスケット、ストレーナを取り外します。

4.ストレーナカップとストレーナを清掃し、ガソリンで洗浄します。



5.ガスケットを点検し、損傷や膨潤している場合は新品と交換します。

6.ストレーナ、ガスケット、ストレーナカップ、ナットリングを取り付け、ナットリングを締め付けます。

⚠警 告

取り付けは、注意深く行ってください。取り付けが悪いと燃料もれをおこし、火災や爆発の原因になるおそれがあります。

7.取り付け後、燃料コックレバーを“運転”位置に回して燃料漏れがないことを確認します。

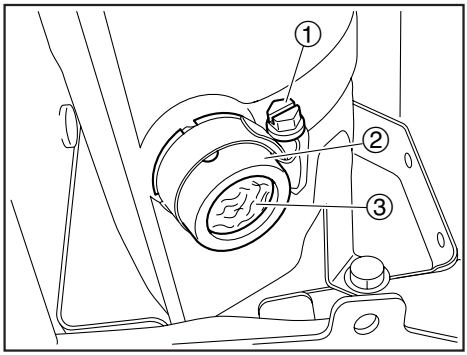
マフラーワイヤネットの清掃

⚠警 告

エンジン停止直後はエンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっていますので、ヤケドに注意してください。点検や整備は、十分にエンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが冷えてから行ってください。

1.エンジンを停止します。

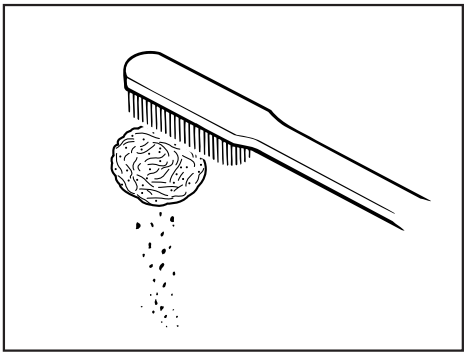
2.スクリュー①をゆるめ、マフラーキャップ②、マフラーワイヤネット③、ワッシャーを取り外します。



3.ワイヤブラシを使用して、マフラーキャップとマフラーワイヤネットの汚れを取り除きます。

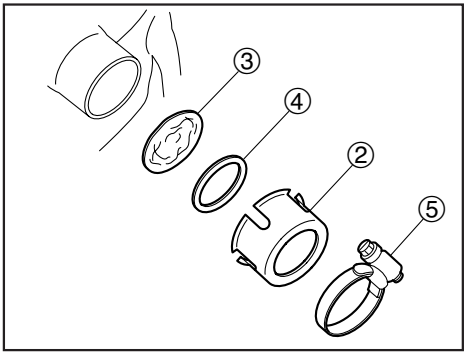
⚠注 意

ワイヤブラシを使用してマフラーキャップとマフラーワイヤネットを清掃するときは、傷を付けないように注意してください。



4.ワッシャー④、マフラーワイヤネット③をマフラーキャップ②に組み付けて取り付けます。

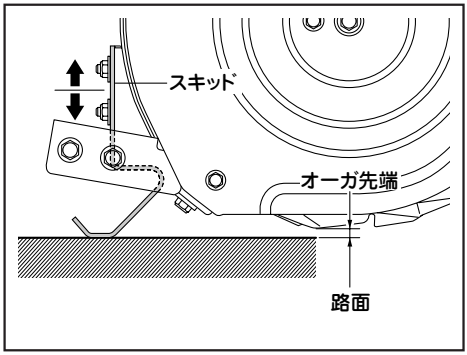
5.バンド⑤を取り付け、スクリューを締め付けます。



スキッドの調整

⚠警 告

除雪機を平坦な場所で水平な状態にしてください。

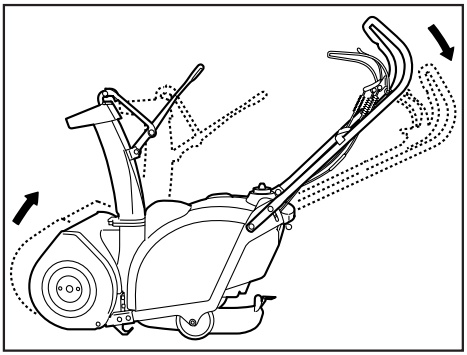


路面の状態に合わせて、路面とオーガ先端とのすき間の調整をします。

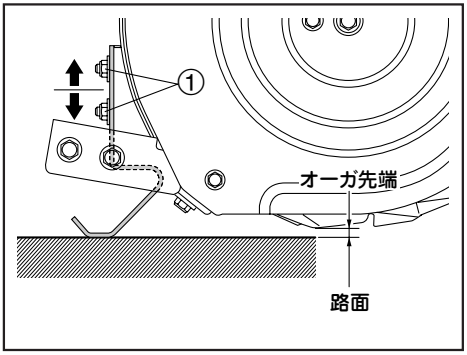
	路面とオーガ先端のすき間
工場出荷時（標準位置）	4mm
コンクリート、アスファルト路	小さくする
小石路、じゃり道	大きくする

1.エンジンを停止します。

2. ハンドルを押し下げ、オーガハウジングを浮かせます。



3. スキッド取付ナット①をゆるめます。



4. スキッドを上下に動かして高さを調整します。
このとき、スキッドの接地面が地面に対して平行になるようにします。

⚠警 告

路面とオーガ先端のすき間を小さくし過ぎると、オーガの回転が路面に伝わり、除雪機が前に進むことがあります。

⚠注 意

路面とオーガ先端のすき間を小さくし過ぎると、オーガの摩耗が早くなったり路面を傷付けたりすることがあります。

要 点

左右のスキッドの高さが均等になるように調整してください。

5. スキッド取付ナットを締め付けます。

締付トルク：
8Nm（0.8kgf・m）

シャーボルトの交換

⚠危 険

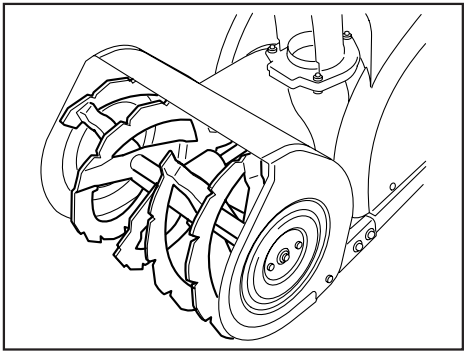
- **インペラ、オーガ回転中は中をのぞいたり、手を入れたりしないでください。**
- **回転部に詰まった雪を除去するときは、エンジンを停止し、各部が完全に停止してからスノーバー（雪かき棒）を使用して行ってください。**

⚠警 告

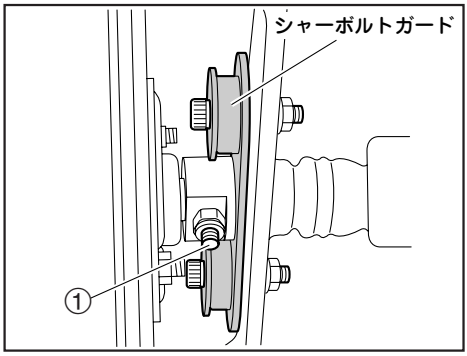
- **除雪機を平坦な場所で水平な状態にしてください。**
- **手袋をはめて作業を行ってください。**

1.エンジンを停止します。

2.オーガハウジング内の雪、異物などを必ずスノーバー（雪かき棒）で取り除きます。



3.シャーボルト①を交換します。



要 点

- シャーボルトはしっかり締め付けてください。シャーボルトの締め付けが不十分ですと、シャーボルトが損傷しやすくなります。
- シャーボルトは純正部品をご使用ください。

締付トルク：
9.8Nm（0.98kgf・m）

スクレーパの調整

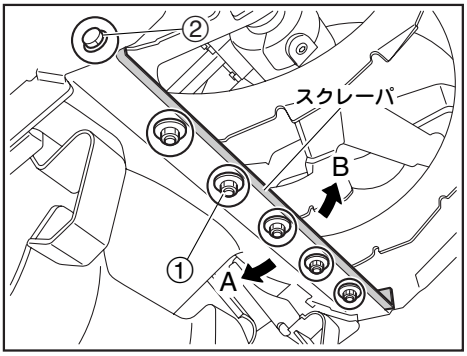
⚠警 告

除雪機を平坦な場所で水平な状態にしてください。

1. エンジンを停止します。

2. スクレーパ取付ナット①（5個）をゆるめます。

3. ボルト②（2本）をゆるめます。
（左右1本）

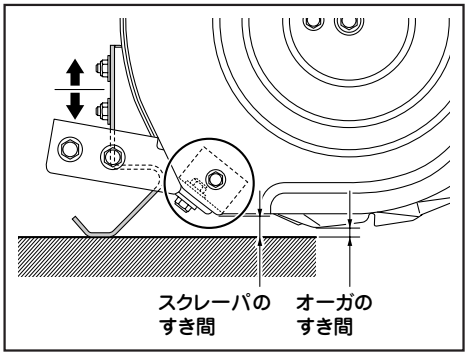


4. スクレーパを動かし、路面とのすき間を調整します。

	すき間
A方向	大きくなる
B方向	小さくなる

要　点

スクレーパと路面とのすき間は、オーガと路面とのすき間と同じか、大きくなるように調整してください。



5. スクレーパ取付ナットを締め付けます。

締付トルク：
8Nm（0.8kgf・m）

要　点

スクレーパは水平になるようにして締め付けてください。

メモ

やさしい点検と整備

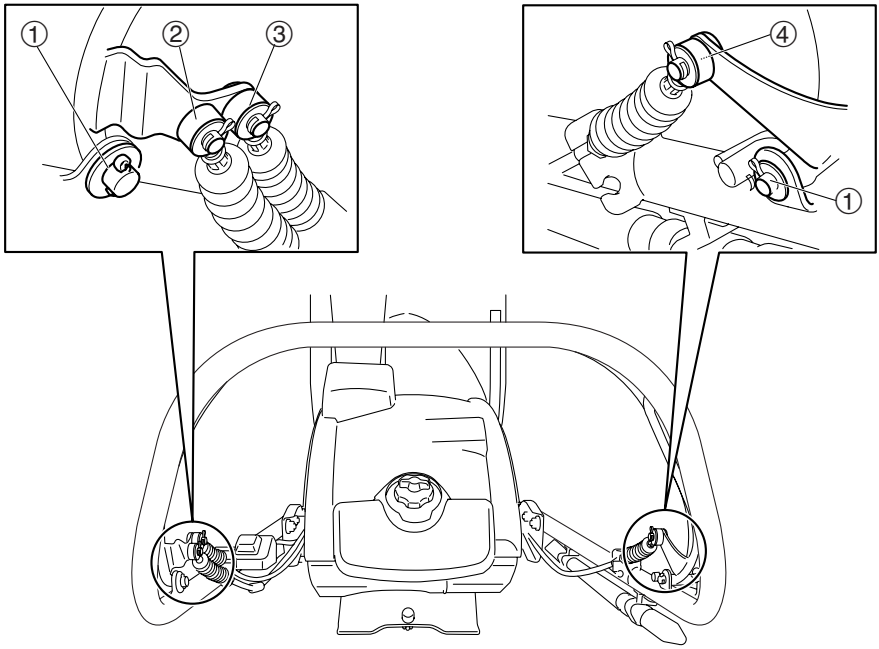
各部の給油

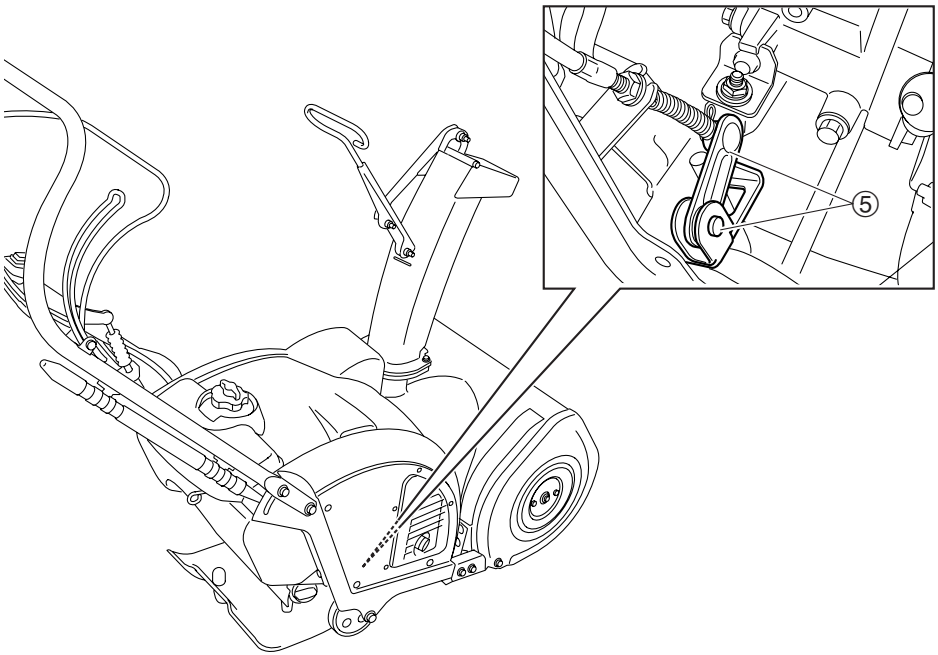
1ヶ月または10時間ごとに、各操作部の軸部にグリスまたはガソリンエンジンオイル（SAE 5W-30）を給油してください。

- スロットル／オーガクラッチレバー、ホイールロック解除レバー摺動部①
- スロットルケーブル取付部②
- オーガクラッチケーブル取付部③
- ホイールロック解除ケーブル取付部④
- ホイールロック摺動部⑤

要　点

ご使用1ヶ月または10時間とは、「1日20分間の運転で30日間の使用」を目安としてください。




⑤

保管・格納

保管・格納時の点検整備は、お買いあげのヤマハ販売店に相談してください。
ご自身で実施する場合は、ガソリンの取り扱いに注意して次の手順で実施してください。

⚠危 険

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。ガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **作業中はタバコを吸わないでください。また、他の火気を近づけないでください。**
- **作業前は本機の金属部分に触れるなどして身体に帯電した静電気を除去してください。**

⚠警 告

- **ガソリンの取り扱いは換気のよい場所でエンジンを停止してから行ってください。**
- **燃料タンクキャップは確実に締めてください。**
- **燃料タンクキャップの燃料タンクキャップ上部つまみは確実に締めてください。**
- **ガソリンを飲み込んだり、ガソリン蒸気を吸い込んだり、またはガソリンが目に入ったりした場合は、ただちに医師の診断を受けてください。**
- **ガソリンが皮膚や衣類にこぼれた場合はただちに石鹸と水で洗い、衣類は取り替えてください。**

⚠注 意

- **燃料が変質してエンジンの始動が困難な場合がありますので、燃料は抜いてください。**
- **こぼれたガソリンは、布切れなどできれいにふき取ってください。**
- **タンク内にゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**
- **除雪機を立て掛けないでください。**

保管・格納

保管

使用後、次回の使用までの期間が 3 ヶ月以上になる場合は、 1 ～14の作業を行って保管し、次の使用に備えてください。

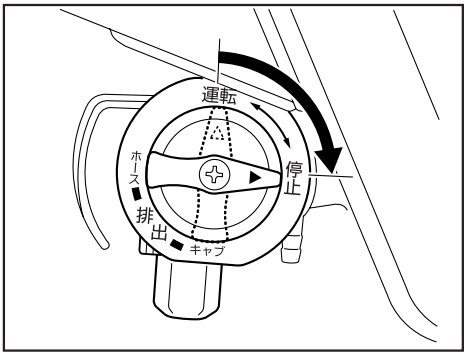
1.エンジンを停止します。

2.燃料タンクキャップを外し、燃料タンク内のガソリンを抜きます。

要　点

抜き取ったガソリンを受ける容器を用意してください。

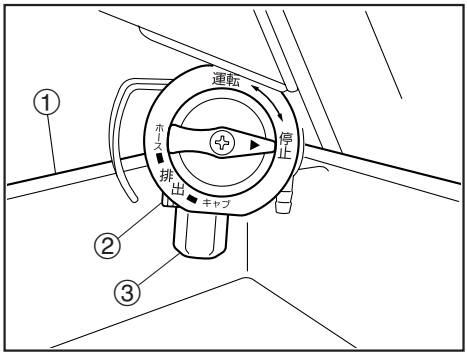
3.燃料コックレバーを“運転”から“停止”位置にします。



4.排出する燃料を受ける容器①を燃料コックの下に用意し、燃料コックのナットリング②を取り外してストレーナカップ③を外します。

要　点

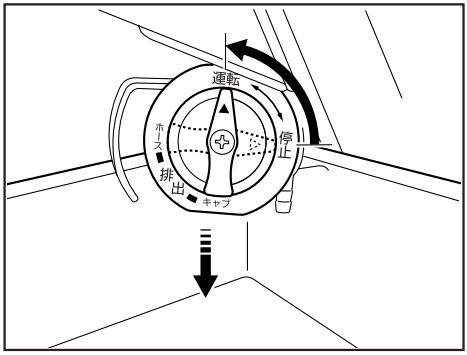
ナットリングがゆるみにくい場合は、プライヤーなどの工具でゆるめてください。



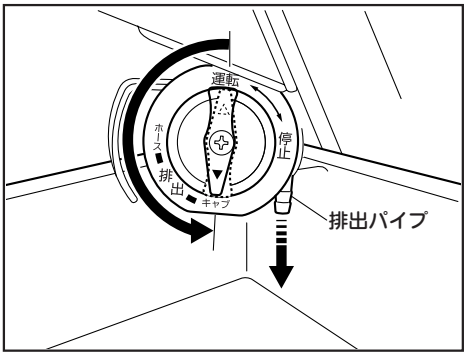
5.燃料コックレバーを“停止”から“運転”位置にし、燃料タンク内に残っているガソリンを抜きます。

要　点

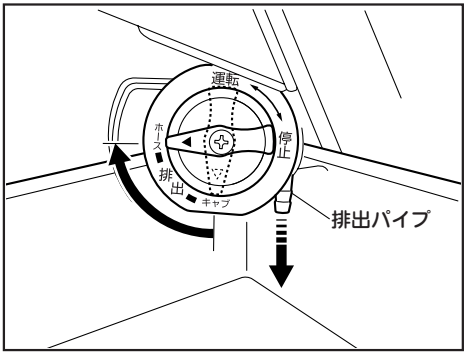
ハンドルを少し押し下げることにより、燃料タンク内の燃料を抜きやすくなります。



6.燃料コックレバーを“運転”から“キャブ”位置にし、キャブレタ内のガソリンを排出パイプから抜きます。



7.燃料コックレバーを“キャブ”から“ホース”位置にし、ホース内のガソリンを排出パイプから抜きます。



8.燃料タンクキャップを確実に取り付けます。

9.燃料タンクキャップ上部つまみが閉まっていることを確認します。

10. ストレーナカップ、ナットリングを取り付けます。

11. 燃料コックレバーが“ホース”位置になっていることを確認します。

12. 除雪機の外観やオーガ、シュータなどの雪や水は布きれなどでふきとります。

要　点

除雪機本体に水分が残ると腐食の原因になります。

13. 除雪機各部を点検し、ボルトやナットにゆるみがある場合は増し締めを行います。

14. 湿気の少ない換気のよい屋内に保管します。

保管・格納

格納

長期間にわたって使用しない場合は、次のことを行って格納し、次の使用に備えてください。

1. 保管項目の1～13の作業を行います。

2. 各部をきれいに清掃して防錆処理をします。

3. 除雪機にカバーを掛け、湿気の少ない換気のよい屋内に保管します。

仕様諸元

	販売名称	YU240
寸法・重量	全長／全高	1280mm／931mm（ハンドル位置中央時）
	全幅	465mm
	重量	41kg
除雪性能	除雪能力	12トン／時間
	除雪幅／除雪高さ	400mm／330mm
	投雪距離	8m
除雪機構	除雪機構	2ステージオーガブロア
	シュータ回転角度	210°
走行機構	走行装置	スキー／ホイール
原動機	エンジン種類	空冷4サイクル傾斜型OHV単気筒ガソリン
	総排気量	0.079L（79cm³）
	出力	1.8kW/2.4PS/3600r/min
	使用燃料	自動車用無鉛レギュラーガソリン
	燃料タンク容量	2.0L
	潤滑方式	強制飛沫式
	エンジンオイル	4サイクルガソリンエンジンオイル 0.41L（410cm³）（SAE 5W-30）SE級以上
	始動方式	リコイル
サービスデータ	スパークプラグ	BPR6HS（NGK）
	スパークプラグギャップ	0.6～0.7mm
	ウォームケースオイル	0.02L（20cm³）（SAE 80W GL-4）
	オーガ用Vベルト	LA-24（三ツ星ベルト）スーパーゴールド
	エンジン用Vベルト	LA-20（三ツ星ベルト）スーパーゴールド

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

メモ

お客様ご相談窓口のご案内

お買いあげいただきました除雪機に関してのお問い合わせは、ご購入いただいた販売店へお願いいたします。
お気軽にご用命ください。
転居などでご購入いただいた販売店へのご相談ができない場合は、ヤマハ除雪機販売店または＜ご相談窓口＞へお気軽にお申しつけください。

＜ご相談窓口＞

◆お客様相談室

ヤマハ発動機株式会社
お客様相談室

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

☎ 0120-090-819

オープン時間　月曜～金曜
（祝日、弊社所定の休日等を除く）
9:00～12:00　13:00～17:00

◆ヤマハモーターパワープロダクツ（株）およびヤマハ発動機販売（株）一覧

＜営業相談窓口＞

ご相談窓口	電話番号	郵便番号	住所
ヤマハモーターパワープロダクツ（株） マーケティング部営業課	0537-27-1401	436-0084	静岡県掛川市逆川242-2
ヤマハ発動機販売（株） 北海道営業所	011-222-6151	060-0031	北海道札幌市中央区 北1条東7丁目10-35
ヤマハ発動機販売（株） 東北営業所	022-772-7071	981-3112	宮城県仙台市泉区 八乙女1丁目1-10
ヤマハ発動機販売（株） 営業統括部営業部冬期商品販売課	03-5442-8059	108-0073	東京都港区三田3丁目10-1 アーバンネット三田ビル8階

お客様ご相談窓口のご案内

＜サービス相談窓口＞

地区	ご相談窓口	電話番号	郵便番号	住所
北海道地区	ヤマハ発動機販売（株） 北海道営業所サービス課	011-222-6151	060-0031	北海道札幌市中央区 北1条東7丁目10-35
東北地区	ヤマハ発動機販売（株） 東北営業所サービス課	022-772-7083	981-3112	宮城県仙台市泉区 八乙女1丁目1-10
関東・ 甲信越地区	ヤマハ発動機販売（株） サービスセンター関東	048-449-6232	108-0073	埼玉県戸田市美女木1054
東海・ 北陸地区	ヤマハ発動機販売（株） 中部営業所サービス課	052-939-1785	461-0023	愛知県名古屋市東区 徳川町1013
関西・中国・ 四国地区	ヤマハ発動機販売（株） サービスセンター西日本	078-806-7308	657-0841	大阪府大阪市淀川区 十八条2丁目4番42号
九州・ 沖縄地区	ヤマハ発動機販売（株） 九州営業所サービス課	092-411-3785	816-0097	福岡県福岡市博多区 半道橋2丁目7-52

- 土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。
  その他夏期など休業させていただく場合があります。
- 区画整理、電話局の新増設などにより、住所、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

2009年6月現在

索引（さくいん）

あ行

安全にお使いいただくために……3
移動をするとき…… 28
ウォームケースオイルの交換…… 36
運転する前に点検しましょう…… 19
エンジンオイルの交換…… 35
エンジンオイルの点検…… 21
エンジンスイッチ…… 11
エンジンのかかり具合および異音の
　点検 …… 23
エンジンの始動…… 25
エンジンの停止…… 27
オーガの点検…… 23
お客様ご相談窓口のご案内…… 53

か行

格納…… 50
各部の給油…… 45
各部の取り扱い…… 11
各部の名称……9

さ行

索引（さくいん）…… 55
シャーボルトガード／シャーボルト… 16
シャーボルトの交換…… 42
シュータの作動具合…… 23
シュートハンドル…… 12
重要ラベル……7
仕様諸元…… 51
使用前点検……19, 31
除雪作業をするとき…… 28
除雪作業を停止するとき…… 30
スキッド…… 15
スキッドの調整…… 40
スクレーパ…… 15
スクレーパの調整…… 43
スノーバー（雪かき棒）…… 16
スパークプラグの点検・清掃…… 37
スロットル／オーガクラッチレバー… 13
スロットル／オーガクラッチレバー、
　ホイールロック解除レバーの
　操作具合の点検 …… 23
前日の作業で異常が認められた箇所の
　点検 …… 23

た行

正しい運転方法…… 25
チョークレバー…… 12
定期点検…… 31
点検項目…… 33

な行

燃料コック…… 14
燃料タンクキャップ…… 14
燃料の点検…… 20

は行

排気の状態の点検…… 23
ハンドル…… 17
ハンドルのゆるみ、ガタの点検…… 23
フューエルストレーナの清掃…… 38
ホイールロック解除レバー…… 13
保管…… 48
保管・格納…… 47
本体識別ラベル……1

ま行

マフラーワイヤネットの清掃…… 39

や行

やさしい点検と整備…… 31

ら行

リコイルスタータ…… 11

正しい操作で安全除雪

- 雪詰まりの際や点検・整備時は、必ずエンジンを停止させてから。
- 回転部・投雪部には手・足・顔などを絶対に近づけない。
- 投雪方向は人・窓・車など、常にまわりの状況を確かめて。
- 早朝や深夜の除雪は、ご近所の迷惑を考えて。
- 燃料の取扱いには十分なご注意を。

その他、ご使用になる前には必ず取扱説明書をよく読んで、安全で正しい操作を心がけましょう。

YAMAHA
ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社
〒436-0084 静岡県掛川市逆川200-1
2009.07 × 1

再生紙を使用しています